

2024年12月18日

学校法人瓜生山学園
京都芸術大学総務課

京都芸術大学、京都芸術デザイン専門学校、京都文化日本語学校、京都芸術大学附属高等学校

学校法人瓜生山学園 契約職員募集について

瓜生山学園は、「芸術的創造と哲学的思索によって、世代や人種、国境を超えて集う学生たちと共に、良心を手腕に新しい人間観、世界観を創造し、未来への希望を育む土壌となる」という建学理念のもと、1977年に入学定員175名規模の短期大学を開設。現在では学園全体として、約20,000名を超える学生を擁する総合芸術教育機関へと成長してきました。

学園が事務局職員に期待する役割は、建学理念の具現化に向け、次の50年先、100年先も「つくり続ける学園」であること。

既成の観念に捉われることなく、新たな事業や組織開発のしなみを柔軟に企画立案し、新たな価値をつくりだすことや、常に問題意識を持ち、工夫、改善して業務に取り組み、学園の付加価値を高め、業務基盤を支えていくことです。

事務局職員というプロフェッショナルとして、現状に甘んじることなく、新たな知見を開く継続的な研鑽を続け教員と両輪で学園づくりに携わっていくことが求められます。

建学理念に夢や思いを重ね、「つくり続ける学園」の成長に向けて主体的に考え、動き、支えていくことを通じて、自身のさらなる成長をめざし続ける旺盛な意欲を持つ皆様のご応募をお待ちしています。

- | | |
|----------|---|
| 1.募集職種 | 事務局職員 |
| 2.雇用形態 | 契約職員 |
| 3.募集人数 | 若干名 |
| 4.職務内容 | 一般事務
瓜生山学園の法人事務局、学園が設置する京都芸術大学(通学課程、通信教育課程)、京都芸術デザイン専門学校、京都文化日本語学校、附属高等学校に関わる事務業務全般に従事
変更の範囲:学園の定める業務 |
| 5.勤務地・配属 | 京都芸術大学(京都市左京区北白川瓜生山2-116)
変更の範囲:学園の定める場所 |

以下の部署に配属の可能性あり

【法人事務局】

○総務・人事

労務管理、給与、福利厚生、安全衛生、コンプライアンス対応、採用、人事制度整備・運用等

○財務・経理

予算管理、決算、会計監査対応、学園資産管理等

○法人経営企画

学園事業計画策定・推進、法人企画運営業務、自己点検評価、IR、秘書業務等

○施設管理

学園施設環境整備、環境負荷軽減マネジメント、防災・避難対策情報・ITインフラの設計や構築、運用、管理、監視、保守、セキュリティ対策等

○広報

パブリシティ活動、報道対応、大学ホームページ・公式SNS・Webマガジンの運用等

【京都芸術大学(通学課程)】

○教学支援

学生生活支援[健康管理、学費管理、奨学金・支援金管理、サークル・課外活動、学園祭運営等]

国際交流支援[交換留学、海外研修等]

教育・研究活動支援[学籍管理、履修・成績管理、授業運営、教育改革推進等]

○キャリア支援

就職・進路支援

○入学広報・入試運営

学生募集、高校ガイダンス、マーケティング、学生募集イベント等の企画・運営、入試業務等

○社会実装支援等

産学公連携プログラム支援、知財関連業務、文明哲学研究所業務等

【京都芸術大学(通信教育課程)】

○教学支援

学生生活支援[学籍管理、学費管理、奨学金・支援金管理、教材管理、イベント等の企画、運営等]

教務・研究活動支援[履修、成績管理、試験運営管理、添削指導管理、スクーリング運営、一般公開講座運営、教育改革推進等]

○入学広報・教育開発

学生募集、マーケティング、学生募集イベント等の企画・運営、教材開発等

【京都芸術大学附属高等学校】

学生募集、学校訪問、説明会運営、入試業務、履修・成績管理、授業運営、教務業務サポート、学費管理、奨学金・支援金管理等

【京都芸術デザイン専門学校】

学生募集、高校ガイダンス、学生募集イベント等の企画・運営、入試業務、学費管理、奨学金・支援金管理、学籍管理、履修・成績管理、授業運営、教育改革推進、就職・進路支援等

【京都文化日本語学校】

海外エージェントとの連携を含む学生募集、出願受付及び COE 申請、下宿先手配、言語対応(翻訳、通訳等)、学生管理、学費管理、成績管理、就職・進路支援等

6.応募資格

①大卒以上(短大卒で学士の資格を有する方も可)

②卒業後1年以上の職務経験を有すること

③本学の建学理念に賛同していただけること

(建学の理念は、本文書末尾でご案内する『京都文藝復興』、『藝術立国』、『通信による芸術教育の開学にあたって』、『まだ見ぬわかものたちに』の URL よりご確認ください)

④基本的な PC スキルを有し事務処理ソフト(Word、Excel)の基本操作が行えること

※職務経験における業種、職種は不問です

※本学園は 65 才定年制となっているため、着任時 65 才未満の方を対象とさせていただきます

学園には、異なる業種、職種からの多様な中途入職者の柔軟な発想や即戦力となるスキル、知識の発揮により、成長を促進させてきた組織文化があります。さまざまな業種、職種からの中途入職者が前職のキャリア、経験値を最大限に活かしながら活躍しています。

7.応募方法

<応募書類>①～③一式を、Web 専用フォームへ PDF データにてご提出ください
応募締切日、応募書類提出先は、以下 8.および 13.をご参照ください

【応募書類】

①職員採用エントリーシート(履歴書)

* 必ず、指定書式「職員採用エントリーシート」を使用してください

「契約職員採用エントリーシート」は、以下よりダウンロードできます

pdf版<https://www.kyoto-art.ac.jp/ckfinder/userfiles/files/202504kshokuinentry.pdf>

word 版<https://www.kyoto-art.ac.jp/ckfinder/userfiles/files/202504kshokuinentryword.docx>

指定書式[A4 サイズ×2 枚]、写真貼付の上、ファイル形式:PDF、ファイル容量:2MB まで

②職務経歴書(自由書式)

- * 指定書式は設けていませんが、A4 サイズの用紙(用紙方向[縦置き]、書字方向[横書き])を使用し作成してください
- ③志望理由書(任意書式/800 字程度)
- * 指定書式は設けていませんが、A4 サイズの用紙(用紙方向[縦置き]、書字方向[横書き])を使用し作成してください
- ※応募の秘密は厳守します。応募書類は返却いたしませんので予めご了承ください
- ※応募にあたってご提出いただいた個人情報(本学規定にしたがい適切に管理し、採用選考の目的以外には使用しません。また、不採用、応募者の辞退にともない採用活動を終了した場合は、本学の責任のもとで、応募書類・個人情報を速やかに廃棄・消去します)

8.応募締切 **2025 年 2 月 3 日(月)10:00 【必着】締切**

9.選考プロセス 応募締切日以降、以下の選考プロセスにしたがって進めていきます

- * 書類選考は応募締切日以降に行います(結果通知は **2025 年 2 月 5 日(水)以降予定**)
- * 応募・選考に関わるご連絡はエントリーシートに記載された e-mail アドレス宛に行います。
記載漏れ、間違いのないよう記載してください。書面郵送での通知は行いません。

※選考日程は変更になる場合があります

【step1】書類選考 2025 年 2 月 3 日(月)～2 月 5 日(水)

【step2】面接選考(最終) 2025 年 2 月 11 日(火・祝)もしくは 2 月 12 日(水)いずれか
※面接は瓜生山キャンパス(京都市左京区)にて対面実施

【step3 採用内定】

10.採用日 2025 年 4 月 1 日あるいは 2025 年 7 月 1 日付

11.条件

給与	月額 254,000 円以上※職務経験を考慮し、本学規定により決定
諸手当	住宅手当 月額 15,000 円(世帯主のみ) 家族手当 (1)満 18 歳未満の子/月額 10,000 円(被扶養者のみ) (2)障害等級 1 級、要介護 3 以上/月額 5,000 円 (被扶養者のみ) 通勤手当 6ヶ月定期代 年 2 回支給(限度額/月額 35,000 円) 超勤手当 有
賞与	年 2 回(6 月・12 月*2024 年度実績)
勤務時間	9 時 00 分～17 時 30 分(実働 7 時間 30 分) *時差勤務や超過勤務の場合もあります *残業(超過勤務)月平均 13 時間程度
休日・休暇	完全週休 2 日制(土・日曜日)、国民の祝日 *年間休日数 122 日(有給休暇、特別休暇含めず) *土・日曜日、祝日出勤(振替休日取得)の場合もあります 特別休日 8 日/年(前年度末、契約職員として在職している者に当該年 4/1 付与) 年末年始休暇、有給休暇有(初年次 10 日、毎年 4/1 に付与) 育児休業および介護休業制度(入職後 1 年を越えた者)
退職金	なし
その他	私学共済(健保・年金加入)、雇用保険および労災保険、健康診断の実施、私学共済の契約施設の利用(直営宿泊施設の利用や、百貨店・専門店などの利用割引、宿泊施設・厚生施設・スポーツ施設の利用補助等)、学費減免制度(藝術学舎(京都、大阪、東京)、京都芸術大学通信教育課程等)

12.契約期間 採用日～2026 年 3 月 31 日

- ※試用期間 3 ヶ月あり(試用期間における労働条件も上記 11.と同様)
- ※契約更新は契約期間満了時の業務量・勤務成績・態度・能力、学園の経営状況等により判断し、年度単位で行う
- 2025 年 4 月 1 日着任の場合、原則 2 回まで(最長 2028 年 3 月 31 日まで)
- 2025 年 7 月 1 日着任の場合、原則 3 回まで(最長 2029 年 3 月 31 日まで)

13.専任職員への応募について

契約職員採用後、契約期間中でも例年秋から募集開始(4/1 付け採用)の専任職員募集へエントリーは可能です。ご着任後、本学でのお仕事、環境を気に入っていただけ、長く勤務したいと考えていただけるのであれば是非ご検討ください。
(2025 年秋頃エントリーの場合 2026 年 4 月 1 日付けの採用となります)

14.応募宛先

応募書類データを、以下 Web 専用フォームよりご提出ください

『契約職員応募書類ファイル提出フォーム』

<https://req.gubo.jp/uriuri/form/202504kshokuin>

15.問い合わせ先

電話 TEL 075-791-8301/総務課(平日 9:00~17:30)

e-mail: jinji@office.kyoto-art.ac.jp

◆ご応募の前に、必ず本学 web より建学理念、中長期計画に関わる資料をご一読ください。

URL: 『瓜生山学園 Vision 2026 (瓜生山学園中期計画)』 <https://www.kyoto-art.ac.jp/info/pdf/vision2026.pdf>

『京都芸術大学/グランドデザイン 2030』 <http://www.kyoto-art.ac.jp/info/pdf/granddesign2030.pdf>

『京都文藝復興』 <http://www.kyoto-art.ac.jp/info/about/philosophy/pdf/hukkou.pdf>

『藝術立国』 <http://www.kyoto-art.ac.jp/info/about/philosophy/pdf/artsnation.pdf>

『通信による芸術教育の開学にあたって』 <http://www.kyoto-art.ac.jp/info/about/philosophy/pdf/tsushin.pdf>

『まだ見ぬわかものたちに』 <http://www.kyoto-art.ac.jp/info/about/philosophy/pdf/young.pdf>

【法人情報】

法人名	学校法人瓜生山学園 京都芸術大学 http://www.kyoto-art.ac.jp/ 京都芸術デザイン専門学校 https://kid.ac.jp/ 京都文化日本語学校 http://www.kicl.ac.jp/jp/ 京都芸術大学附属高等学校 http://shs.kyoto-art.ac.jp/ 認可保育園 こども芸術大学 http://www.kodomo-art-ac.jp/
設立	1977 年
代表者	理事長 徳山豊
従業員数	504 名(職員 204 名、教員 300 名)2024 年 5 月 1 日現在 職員内訳 1.専任職員[正社員]109 名[男性 43、女性 66] 2.契約職員[事務職員(一般職)]49 名[男性 11、女性 38] 3.契約職員[副手・技術員(技能職)]46 名[男性 15、女性 31] ※今回募集の契約職員は、上記 2.に該当します
事業所	◎法人事務局/京都府京都市左京区北白川瓜生山 2-116 ◎キャンパス/瓜生山(京都市左京区)、東京外苑キャンパス(港区北青山)、 大阪サテライトキャンパス(大阪市北区) ◎海外事務所/ソウル事務所(韓国)、台北事務所(台湾)、上海事務所(中国) ◎姉妹校/東北芸術工科大学 ◎国際学生交流協定締結校/弘益大学校(ソウル)、国立台北芸術大学(台北)、 ウィーン美術アカデミー(ウィーン)、ポーンマス芸術大学(ポーンマス)等、13 カ国 22 校
事業内容	京都芸術大学をはじめとする教育・研究に関わる諸事業。 1977 年に短期大学を開設以降、大学、大学院をはじめ、 1998 年には日本初の芸術系 4 年制通信教育部、 2013 年にはインターネットでの学びに特化した芸術教養学科を設置するなど、『藝術立国』の 建学理念に基づき、学園の使命および将来構想を明確にし、たゆまぬ革新と成長を続けています。 2013 年京都芸術デザイン専門学校、京都文化日本語学校と法人合併 2019 年 4 月 1 日京都芸術大学附属高等学校(広域通信制課程[単位制]普通科、 認可保育園こども芸術大学を開設 2020 年 4 月 1 日「京都造形芸術大学」から「京都芸術大学」に名称変更 ※各設置校および各教育課程の間で教育手法、教育成果を共有し、学園全体の教育力向上をはか っています